

平成28年度 第5回国際委員会議事録

日時：平成29年1月19日(木)

場所：ポートピアホテル 5F 505・508 11:00~12:00

出席：(担当理事)中村 雅也

(委員長)松山 幸弘

(委員)小澤 浩司、川口 善治、酒井 大輔、種市 洋、
波呂 浩孝、宮腰 尚久

欠席：加藤 慎介、石井 賢、千葉 一裕、(敬称略)

1. 担当理事から委員会への報告事項、検討依頼事項

1. 2016年アジアトラベリングフェロー(受け入れ)について国内での受け入れ先機関に対し支援金としてフェロー1人あたり7000円/日を学会から支給する件に関して理事会での承認が得られたことが報告された。(報告事項)

2. 海外からの応募を促進する目的で、国際委員会招聘演者5名の所属施設から数名の演者に応募してもらい、演者一人あたり5万円の補助を学会から支給する事につき理事会での承認が得られたことが報告された。(報告事項)

2. 委員会から理事会への審議依頼事項

1. Spine Across the Sea について

波呂委員より NASS 側から Spine Across the Sea を2年毎にしてはどうかとのオファーがあり、国際委員会としては承認する方向であり、理事会で審議頂きたい趣旨が説明された。(検討事項)

3. 委員会内部報告事項

1. English oral session の活性化に向けた取り組み

1) 宮腰委員より 2017 学術集会運営準備状況が説明された。演題募集に際し English Presentation Award として 1.Trauma, 2. Infection の2テーマで募集し、合計29演題の応募があった事が報告された。(報告事項)

2) しかしながら 29 演題全てが日本人演者であり、本来の English Presentation Award、English Presentation Session 設立の趣旨と分離があり、来年度以降の募集に関して討議する必要がある事が報告さ

れた。(報告事項)

2. 2017年第12回アジアトラベリングフェロー(派遣)の募集について15名の応募があった事が報告された。(報告事項)

4. 委員会内部討議事項

1. English Presentation Award、English Presentation Sessionの演者選定について

査読による採点表に基づき29演題中Infection3題、Trauma6題をEnglish Presentation Awardに、English Presentation Sessionに16演題の合計25演題を選定した。セッション詳細についてはプログラム委員会に一任する事が決定した。(決定事項)

2. English oral sessionの活性化に向けた取り組み

今年度、海外からの演題応募がなかったことから、来年度に向けて以下の点を強化していく事が討議された。

1) APSSのe-news letterで回覧してもらえよう、小澤委員よりAPSS鑑chairmanへ連絡を取り依頼することが決定した。Letterの原案は小澤委員より委員会へ回覧して頂くこととなった。(決定事項)

2) 国際委員会招聘演者5名の所属施設から数名の演者に応募してもらい、演者一人あたり5万円の補助を学会から支給する事に関する周知を強化する。具体的には招聘演者が決定したらすぐに国際委員会からコンタクトすることが確認された。次回の国際委員会招聘演者の選定に向け、過去の国際委員会招聘演者のリストを松山委員長から委員会へ回覧される事が確認された。(決定事項)

3. 2017年第12回アジアトラベリングフェロー(派遣)の選定について

委員会内での審査の結果、応募15名に対して10名を2017年度第12回アジアトラベリングフェロー(派遣)に選定した。

樽角 清志	36	九州大学病院別府病院
伊藤 研悠	39	名古屋大学医学部
山田 賢太郎	39	大阪社会医療センター

坂野 友啓	38	浜松医科大学
石川 哲大	39	さんむ医療センター
坂井 顕一郎	43	済生会川口総合病院
岡田 誠司	43	九州大学医学研究院
猪瀬 弘之	41	東京医科歯科大学
大谷 隼一	36	JCHO 東京新宿メディカルセンター
藤田 順之	43	慶應義塾大学

5. 継続議題

(なし)

6. 次回委員会日程については2017 学術集会会期中に開催を予定し、追って事務局より連絡することとした。

以上